

美術館ティーンズ・スタジオ 事業内容

委員 美術館で新たにティーンズ・スタジオ事業が実施される。同事業により、次代を担う中高生の来館する機会が増え、美術館が、様々なものを発信する場となればと思う。そこで、同事業の実施内容を聞きたい。

美術館副館長補佐 同事業は、毎週土曜日の午後1時から創作室で実施し、主に中高生を対象に、年間を通して気軽に創作活動ができるプログラムに参加してもらおうものである。内容は、主に20〜30代の近隣美術学校等の出身者を指導員に迎え、デッサン、彫刻、版画などといったワークショップを通じ、創作活動ができる実技プログラムを行う。

観光協会の推奨品認定制度 市の事業との関係は

委員 府中観光協会では、平成18年度より推奨品認定制度を実施しているところ。そこで、同制度の内容及び市が実施している特

産品等開発支援事業との関係を知りたい。

経済観光課長 推奨品認定制度は、市民や観光客の記念となる商品と同協会が認定、推奨し、産業経済の振興と新たな府中ブランドの確立を目指すものである。関係については、特産品等開発支援事業は



▲推奨品シンボルマーク

産業経済の活性化を図るものであり、対象となった商品等は、同協会が行う推奨品認定制度の府中ブランド確立と推進のために大きな役割を持ち、密接な関連性があるため、連携して進めていくべきと考えられている。

福祉計画策定委員会 当事者参加の考えは

委員 市は、平成19年度から、福祉計画の改定に向け、策定委員会を立ち上げると聞か

が、その構成を聞きたい。また、同委員会には、福祉サービスの対象となる当事者の参加も必要と思うがどうか。地域福祉推進課長 同委員会

は、高齢者、障害者、子育て支援、地域福祉の4分野の協議会と、本市の福祉における基本理念の検討や調整を行う協議会を合わせた、5つの市民参加の協議会で構成される。また、現在の福祉計画の基本視点に、「利用者本位の福祉サービスの実現」と掲げているため、今後もそれに従い、当事者参加の検討協議を進めていきたい。

狭い道路拡幅整備事業 その内容

委員 狭い道路の拡幅は、隣接する土地所有者の協力が大変重要であり、時間がかかると問題であると思う。そこで、狭い道路拡幅整備事業の内容と実績を聞きたい。

管理課長補佐 同事業は、法で定められた4m以上の道路幅員を確保するため、土地所有者等の協力を得て、道路中心線から2m以上の後退用地を道路用地として、提供してもらう事業である。提供された用地は、市が整備し、当該用地に塀等がある場合は、撤去や移設にかかる工事費を助成するものである。拡幅実績は、過去5年間で、8135mを整備している。

チームティーチング その効果

委員 本市では、チームティーチングとして、算数・数学等の教科で複数の教員によるきめ細かい授業が行われ、学力向上に取り組んでいるが、その効果と評価を知りたい。統括指導主事 児童・生徒からは、自分のペースで学習できるようになり、授業が理解しやすく、質問もしやすいとの声が聞かれる。保護者からは、子供の学習意欲が高まっているように思う等の声があり、実施の効果がみられる。

評価について、教師は、子供の実態が把握しやすく、一人一人の学習スタイルやペースにあわせた授業運営ができることなどを挙げている。

総括

枠配分方式

委員 新しい予算編成方式として、枠配分方式を取り入れているが、これは、成果主義につながると考える。行政に成果主義を持ち込むのはどうかと思うが、市の認識は。財務部長 本市では、貴重な市税を効果的に活用するため、各事業の評価に基づき、市民ニーズに対応した事業の見直し等を進めている。

これが、市の考える成果主義であり、枠配分方式は、各分野における市民ニーズを最も把握している各部署の判断を生かすために、新予算編成方式の基盤をなすものである。

子ども家庭サービス事業

委員 子育て家庭の支援を目的として実施されている「子ども家庭サービス事業」が、平成19年度のレベルアップ事業の一つになっているが、レベルアップの内容を知りたい。子ども家庭部長 内容は、著しい育児ストレスなどにより虐待につながるりかねない状況にある親への支援として、子供を短期入所させることのできるショートステイ施設を新たに2箇所確保するものである。

2箇所の施設は、1箇所が2歳未満の乳幼児、もう1箇所が、2歳以上の児童を受け入れる施設となる。

防災対策

委員 市は、平成19年度から学校耐震化の推進やマンション耐震診断に対する補助、防災計画の見直しなどを行うとしている。19年度は大震災への備えを一気に進める年と考えるが、残る課題は何か。環境安全部長 本市の防災対策は、自助・共助の精神を基本原則として取り組んでいる。

従って、防災対策が充実することにより、市民の自主的・主体的な対応能力が低下しないようにしていくことが重要と考えている。

市の教育方針

委員 平成19年度の学校関係予算では、直接子どもに関わる部分が減額されており、学校現場の声が反映されているのかと疑問に思う。

そこで、直接子どもたちに接するところを大切にしているのかどうか、市の教育方針を聞きたい。

教育長 教育委員会は、子供とのふれあいを大切にしながら、学校の教育活動が充実し、子供が学校生活を楽しみ、教員が充実感を得られるように支援している。今後も、学校支援の姿勢を堅持し、教育目標達成を目指して、努力していきたい。

市民との協働

委員 市は、平成15年度からNPOとの協働推進事業に取り組んでいるが、市民との協働を考える際、市民に対し、何を期待しているのか聞きたい。

生活文化部長 同事業等については、公益につながる事業であるため、市民のソフトパワーによるまちづくりが推進されることを期待している。

また、事業の推進により、市民がNPO・ボランティア活動の社会的意義についての理解を深め、地域の課題に対する自主的・自発的な活動が促進されることを期待している。

格差の拡大

委員 本市では、以前と比べ、格差と貧困が拡大していると思う。

そこで、市として、現在の市民の生活実態をどう認識しているのか。総務部長 格差については、個人の方等により様々であるが、頑張った人が報われる結果、生じるものでもあり、一概に否定できないが、あまりに拡大すると貧困層の拡大にもつながりかねない関係にあると考えている。本市の状況は、所得状況等だけでは判断できないので、機会をとらえ状況把握に努めたい。

平成19年度各会計別予算

区分	平成19年度	平成18年度	伸率(%)
一般会計	801億1000万円	756億1000万円	6.0
特別会計			
国民健康保険	223億9244万6千円	185億6561万5千円	20.6
老人保健医療	137億7919万円	136億4101万8千円	1.0
介護保険	98億8052万2千円	93億597万3千円	6.2
競走事業	902億2646万5千円	829億395万1千円	8.8
公共用地	15億1298万6千円	10億2356万1千円	47.8
下水道事業	43億75万5千円	40億8730万6千円	5.2
受託水道事業	13億8680万円	14億4110万円	△3.8
火災共済事業	1003万円	993万3千円	1.0
計	1434億8919万4千円	1309億7845万7千円	9.6
合計	2235億9919万4千円	2065億8845万7千円	8.2

平成19年度一般会計予算款(科目)別内訳

